

R7地域こん談会まとめ

案件番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	河原林町	○七谷川防災道路整備事業の早期完了に向けての取り組みについて ・事業がスケジュールどおりに着手できるようお願いします。	七谷川左岸の防災道路整備、和らぎの道延伸につきましては、令和4年度から地域の防災道路として道路詳細設計業務を実施し、昨年度には河原林町自治会の協力をいただきながら、事業用地の無償提供についてすべての地権者から同意書をいただいたところです。 本年度につきましては、各地権者との寄付手続きを順次進めており、併せて工事の支障となる建物の調査を進めてまいりたいと考えております。 今後につきましても、事業の進捗状況等を自治会と情報共有しながら進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。 なお、和らぎの道の延伸としての修景整備等につきましては、今後、事業実施に向けた財源の確保に係る整備手法の検討を行うとともに、「七谷川周辺整備を考える会」や河原林町自治会と協議させていただく中で、計画を策定してまいりたいと考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		・京都府が進める七谷川の改修工事促進についても引き続き支援をお願いします。	また、京都府により進められております七谷川の河川改修工事につきましても、七谷川の早期課題解消に向け、引き続き京都府と連携を図ってまいりたいと考えておりますので、ご協力をよろしく願います。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 今年度の建物補償については、農業倉庫が建物の移転補償となると思うが、移転先が七谷川緑地の区域内となっています。河川改修工事と合わせて区域の変更をお願いしたいです。	現在の建物は緑地区域にはギリギリ入っておりません。調査後に移転補償の交渉をさせていただきます。京都府の工事においては3mの幅員で管理用通路を整備されたため、左岸については建物補償については問題ございませんでした。市道については幅員をもう少し広くなるため、建物の補償をさせていただくことで進めております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			緑地の指定区域については、街並みや幅幅後、桜並木にもなり広がってまいります。合わせて緑地指定にもなるが、しっかり取り組んでいきたいと思います。	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 地元検討委員会(七谷川を考える会)から早く図面が欲しいという話が出ております。いつ頃になるのでしょうか。春は桜、秋はもみじが欲しいとか、トイレやあずまや等ではなく、東から西へ(千歳側から)誘客をしたいと思っています。	時期ははっきり申し上げられないが、東西につながる防災道路をまずはつなげる必要がございます。それと合わせて、修景の整備を行っていき、和らぎの道を延伸ということで魅力ある道路にしたいと思っております。修景整備については改めて協議を行いたいと考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
2	河原林町	通称南河原(七谷川の分水路)の利用計画と事業化について 現状の南河原は雨水の排水路になっていることから、豪雨の度に市道が横断する3地点では雨水により道路が冠水して通行が困難となります。「南河原」整備と土地活用は、まちの背骨となる道路網整備と長年に悩まされてきた水路への解消につながるもので、安全と活性化のためには欠かせない事業であるため、同水路の流量計算に基づく水路改修だけにとどまらず、道路として府道(東)から河原林生涯学習センター前を通って市道(西)へつながる当町のメイン道路となるように「南河原の改修工事と事業」を進めていただきますようよろしくお願いいたします。	まずは水害対策が必要だと考えておりますが、河原林町自治会が描いておられる想いを形にするためには、府道郷ノ口余部線を管理する京都府との接続協議や京都府警本部との公安協議のほか、防災や景観といった観点からも多角的に検討する必要があり、他の事業要望や財政状況等を踏まえると、早期に事業を進めることは難しい状況ではありますが、河原林町の安全・安心のまちづくりにあたりましては、まずは、現在事業を進めている七谷川左岸の防災道路整備、和らぎの道延伸が早期に完了できるよう取り組んでまいりたいと考えております。	まちづくり推進部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

		<p>【質問等】 この件については、前、前々自治会長から言い続けている事であるため、忘れないでほしいという思いです。防災としての水路となっており、天井川を改修しない限り解消はしません。水量計算をし、また、公安協議、接続協議含めて考えてもらい、実現に向けていただき進めていただければと思います。そのことによってグラウンドの整備で広く使えるようになり、子どもたちからはフラワーロードをしたいという声もあり、地元としても実現したいため協力をお願いしたいと思います。</p>	<p>水路と道路が並走しており拡げるとなると建物にも影響があると思います。また、水路を暗渠化するということも可能性としてはあると思われるため、まちづくり会議の中で議論いただき方向性を示していただければと思いますのでよろしくをお願いします。</p>	<p>市長 (まちづくり推進部長)</p>	<p>③検討</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>【質問等】 何年か前に暗渠化の話は出ておりました。その時に水量計算しないと暗渠化は出来ないと言われていたので、ご検討いただきたいと思ひます。</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
3	河原林町	<p>農業公園の整備と土づくりセンターなどの周辺の臭気対策強化について 土づくりセンターの臭気問題は、いまだに解決されていません。臭気問題は、周辺の田・畑利用者や通学する高校生、移住を考えている人にも影響を与えています。 環境先進都市・亀岡の足かせとならないためにも、臭気改善に向けた抜本的な取り組み方策をお聞かせください。</p>	<p>土づくりセンターにつきましては、指定管理者の亀岡市農業公社と継続的に連携しながら臭気抑制に取り組んでいるところです。 臭気抑制に関する調査研究の結果、臭気対策の先進地で活用されている、有機系発酵促進剤を定期的かつ継続的に散布しており、土づくりセンターの作業現場からも、堆肥製造過程において、臭気の抑制に一定の効果があるとの報告を受けております。 現在、この発酵促進剤の活用以外にも施設内清掃を励行し、臭気物質が換気とともに施設外へ排出されないよう臭気抑制の研究を進めており、今後も継続して臭気対策に取り組んでまいります。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>併せて隣接の丹波畜産協同組合の糞尿の垂れ流しなど対処や臭気対策については過去から毎年のように申し入れしていますが、畜産公害は改善されていません。 しかし、近年は養豚の飼育をされていないと聞いています。現養豚場の土地・建物については畜産以外での新しい活用・利用を望むものです。 ついでには、亀岡市の当該施設の利活用についてお考えをお聞かせください。</p>	<p>養豚場につきましては、「環境保全に関する協定書」に基づき、地元自治会、畜産業者、京都府、亀岡市で構成する「農事組合法人丹波畜産協同組合の養豚場運営に係る環境保全委員会」を設置し、現地確認や意見交換をするなかで、定期的に、協定書の履行状況の確認を実施してまいりました。 しかし、去る令和6年5月24日に開催された「第26回経営実績報告・検討会」において、丹波畜産の経営状況が著しく悪化し、事業の継続が困難な状況になったことから、この状況を関係自治会にもお知らせするなかで、それ以降の会議が開催できず、現在、これまで本件に関わってきた京都府等の関係機関とともに、当該施設の利活用も含め、丹波畜産の今後の対応について協議を進めております。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
			<p>亀岡市土づくりセンターの臭気問題と農事組合法人丹波畜産協同組合の今後の施設利活用につきましては、地元にとりましても非常に重要な懸案事項であると認識しており、課題解決に向けて継続的に取り組んでまいります。</p>	<p>産業観光部長</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
		<p>【質問等】 20年と長い間この問題は出ており、未だ解決しておりません。アグリフェスも含め催しが無くなり臭気だけが残っている状況であります。農事組合法人丹波畜産協同組合については、経営が難しいと聞いております。今後建物を含めてどのように扱われるか考えをお話しいただけたらと思います。</p>	<p>農事組合法人丹波畜産協同組合については、現在は豚も全くなっていないと確認しています。もともと国の補助金を亀岡市を通して出しております。 今後破産されたときには、競売に参加して購入をしていきたいと考えております。購入出来れば、畜産はしないで南丹市のバイオ事業と連携して有機(落ち葉等)の堆肥を製造していこうと考えております。家庭等から出る落ち葉等は年間800t出ているという状況で一部焼却処分しています。炭化して土に戻していく取り組みも考えて準備を進めていますが、市が施設を所有していなければ出来なため競売には参加していきたいと考えております。</p>	<p>市長 (産業観光部長)</p>	<p>⑥その他</p>	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>

R7地域こん談会まとめ

4	河原林町	<p>竹林整備事業について 令和7年度新規事業として当町が竹林整備事業を受けることになったため、本事業が実施に向けてスムーズに導入できるよう指導をお願いします。 この事業が、竹林整備事業にとどまらず、竹製品化(チップやパウダーほか)と販路の確保と事業拡大、地元雇用面へと広がる継続可能な事業となるよう指導をお願いしたいと思ひます。</p>	<p>本市の竹林面積は、146ヘクタールあり森林面積の1%程度ではありますが、放置竹林問題は、新たな地域課題になってきているところです。 今年度、放置竹林問題の解決に向けた有効策の検証や地域住民による持続可能な竹林保全の自走型モデルの構築を目指して、河原林町勝林島地内の竹林約1.6ヘクタールにおいて竹林整備モデル事業を実施する予定です。 既に若宮神社の枯損竹につきましても、土地所有者や管理者等と調整を図り、ウッドチップperを搬入して竹をチップ化することで、竹林保全・景観の向上に取り組んでまいりました。今後、桂川沿い一帯の荒廃した放置竹林につきましても、伐採・整理を面的に進めるとともに、竹材利用をはじめ需要と供給のマッチング、高付加価値化、伐採から搬出までのコスト削減対策など竹材の有効活用に向けた可能性や課題等を検証してまいりたいと考えています。</p>	産業観光部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>本市といたしましても、竹チップや竹パウダー、竹炭や竹の香水など、竹が持つ新たな可能性を探り、地域課題の解決にとどまらず地域資源の有効活用や循環利用、そして地域の活性化にまで効果を波及させていくため、地元をはじめ関係機関等と連携し、放置竹林対策に取り組んでまいりたいと考えますので、ご理解、ご協力をお願いします。 竹をチップ化すると10分の1程度となり大量生産となると経費のわりに生産量が少ないため、地元の竹が活用できるような方法を研究していきたいと思っております。</p>	産業観光部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】 放置竹林は1キ口程度あり、竹を4m程度に切り4つにまとめると売れるようですが今のままでは売れません。いったん整理をしてチップ化するなどで2、3年置くとやっと製品が出来ると最低3年やっていただき製品になるため3年間は事業費をお願いしたいと思ひます。 ウッドチップperでチップ化したものを見せていただきました。森林組合ではウッドチップperだったが、パウダーの方が使いやすいが機械が無いようにも聞いております。パウダーをつくれる業者はご存じでしょうか。 チップの工場をつくってもらいたいが、この辺りにはない。南丹地域含め管理できるようよろしくお願いします。</p>	<p>和歌山県かつらぎ町に行きチップやパウダーを利用されているのを確認しているがウッドチップperは竹が固いため刃が傷みやすいため大きな機械を入れたいといけないと聞いております。またパウダーは時間がかかるため今研究中であり、どのように製品化していくかも研究中でございます。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>パウダー化できる機械を持つ事業者と一度、話をさせていただきましたが、導入には大きな予算が必要で、すし、可動式のものだと規模が小さいため固定式の大きな機械のほうが良いだろうと思ひます。しかし固定式の機械だと竹をそこまで運ばなければいけません。なので一度、パウダーの機械をレンタルして実証実験をしてパウダーをどのように活用できるか検討するのが良いだろうと考えております。</p>	市長 (産業観光部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
5	河原林町	<p>カラス、鹿による農作物の被害防止対策について カラス、鹿の駆除については、様々な手法で駆除対策をしておりますがこれから夏場と実りの秋を迎えます。特に夏野菜の収穫前に被害が出て困っています。 鹿については、田畑はもとより最近では民家の近くの畑の野菜を栽培しているところからの被害が出ている状況のため、被害状況の実態に即した効果的な対策の強化をお願いしたいと思ひます。</p>	<p>本市におきましては、猟友会への捕獲・駆除業務委託により、山から集落への有害鳥獣の侵入・定着を防ぐとともに、駆除活動を強化しているところです。猟友会への駆除委託により昨年度市内全域で約800頭のシカ、イノシシを捕獲・駆除したところです。 河原林町の地域課題であるカラスの駆除数につきましては、昨年は845羽と令和5年度の215羽と比べて約4倍を駆除しています。</p>	産業観光部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>昨年度のカラス駆除につきましては、捕獲対策に取り組むため様々な手法で試行錯誤を繰り返してきました。カラス捕獲檻を農業公園内から土づくりセンター北側の養豚場近くに移設するとともに、エサをパンだけでなくドッグフードやシカ肉にするなどの対策を講じてまいりました。昨年度に捕獲実績が大きく伸びた要因は、猟友会川東班による空気銃を用いた駆除により、1か月間で180羽駆除した月もあるなど、カラスに特化した駆除を強化しました。 しかし、カラスの密度を一時減らせたものの、他の地域からの飛来数が増えているのが現在も一進一退の状況が続いており、今年度も引き続きカラス捕獲檻と猟友会の空気銃を最大限に駆使してカラス対策の強化に努めてまいります。</p>	産業観光部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

			シカ対策につきましては、今年度から猟友会と事前調整を図り、1回あたりの有害鳥獣捕獲期間を2週間から3週間へ延ばしました。また、8月8日のお盆前まで、切れ目なく銃又はわなによる計画駆除を実施することで、捕獲・駆除の強化を図っているところです。これから夏野菜の収穫も最盛期を迎えることから、本市といたしましても効果的な対策を講じることで河原林町の地域課題の解決につながるよう取り組んでまいりたいと考えます。	産業観光部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 有害鳥獣の関係で7月上旬に伊勢のまごころやに視察に行きました。サルは駆除だったがサルは賢く追いかけたら逃げるの繰り返しでサルの探知機を置いて山へ逃がすというものでありました。カラスは適用できるかもしれないが鹿は出来ないと思っています。今小豆を種まいているがトラクターの後ろはカラスで真っ黒になっています。種を食べていると思われ困っています。 実験的に自己防衛の取り組みとしてヒトデを乾燥し粉砕したものを畑にまいているが、まき始めてからは来たことがありません。これはあくまでも肥料という形で、宮津の海洋高校のバイオ科がヒトデと使っているが、肥料ではなくヒトデの粉砕したものをまくと家庭菜園であれば被害は出ていないので鹿にも効果があると思っています。	—	—	—	—
その他意見等	河原林町	河原林町を含めた丹波NEW風土記の里整備促進協議会の取り組みがごさいます。丹波国分寺、国分尼寺、丹波一之宮出雲神社で古来から開かれたと聞いております。川東においてもそのことをよく知ってもらおうと取り組みを進めてもらっております。京都府も平成30年3月に京都府の景観条例に指定をしていただいている経過がございます。各町持ち回りでウォークラリーやフォトコンテストを行っているが、もっと魅力を発信できないかと言われております。来年度の全国都市緑化フェアにつながるため川東地域をアピール出来ないかと思っています。例えば、これまで開催されたフォトコンテストの写真でカレンダーをつくりたいが、補助金などはないでしょうか。 また、来年度の全国都市緑化フェアが開催で全国から代表者がいらっしやります。その中で平の沢公園を整備されたがそこを拠点として亀岡市をアピールするディスプレイのようなものができるか。また、川東地域を回れるようなことが出来ないかということをお伺いしたいと思います。国分尼寺には看板ができましたが国分寺跡には看板がないのでしょうか。	資金に関してはふるさと納税自治会版がごさいますのでそちらを活用していただきたいと思えます。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			様々な補助金があるが適用できないかということも含め協議させてもらいたいです。今年度はほぼ締め切りとなっているため、今年度か来年度、どちらが良いのかを含め相談させていただければと思います。 緑化フェアについては2市1町5会場で拠点があるそれ以外フェースポットで50か所程度を定めております。既に水鳥の道、平の沢池、なごみの里あさひがごさいます。国分寺跡の看板については、令和4年度から順番に史跡の看板、芝生張りを進めております。来年度は史跡国分寺跡全体の案内看板を設置することで進めております。	生涯学習部 文化芸術担当部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
			国分寺の関係は10年間で整備を進めており、残り3年ほどとなりました。その間にまだ用地買収ができていないところがございますので、そちらも買収できるよう整理を進めてまいります。	市長 (生涯学習部 文化芸術担当部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

その他 意見等	河原林町	宇津根橋の右岸から亀岡駅の市道が現在拡幅されています。2年前に川東5町で駅北のロータリーに向かう道を整備してもらいたいと要望を出しました。市長の考えを聞きたいです。	右岸道路の件については宇津根橋から京都亀岡保津川公園まで緑化フェアの関係で進めているところでございます。駅直結道路として市道保津川公園線で認定しております。まずは宇津根橋からフェア会場までの整備を行い、その後も京都府の露堤エリアとなっているため、府の河川整理と、公園の中を通る道路のため合わせて協議を行い検討していきたいと考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			整備にはアユモドキの関係もございましてこちらも緑化フェアに合わせてビオトープを整備しますので、その状況によって右岸でしっかりとアユモドキを守っていくことができると示すことができれば道路整備をしていきたいと考えております。	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
その他 意見等	河原林町	川東地域では6月8日頃の田植期間中に消防夏季訓練や運動会があるため、農作業を高齢者はかりでやらなくてはいけないので、何とかしてもらいたいと思います。	農業の担い手の問題については消防や川東学園に申し入れ、なるべく農繁期以外に実施出来るよう話をしたいと思います。	市長 (総務部長) (教育部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
その他 意見等	河原林町	保育所入所について、孫が入るときいっばいとなっていたが千代川在住の人が入っていたことが分かりました。自治会としても制限をかけながらまちづくりの関係において指定区域で人を増やしていくようにしているため、地元の子が入所できるようにしてもらいたいと思います。	保育所は、6月議会で質問いただき亀岡市は4町合意で川東学園に隣接する土地に保育所を移転することを要望いただいています。車の送迎などもあるため、一方通行など道路の安全対策を検討していきたいと思います。今回の移転をすることで、川東学園保育園という形でその保育園に行くことでその子どもたちが川東学園に進学できる位置づけをしたいと思います。もちろんこの地域の子どもたちが入りやすい配慮も必要であると考えております。	市長 (総務部長) (こども未来部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
その他 意見等	河原林町	河原林から国分寺行く道路が草で生い茂っており通れません。用地買収が終わっているのであればせめて道路は対応していただきたいと思います。	国分寺へ行く道について、一度確認を行いたいと思います。	市長 (まちづくり推進部長)	⑤困難	当該道路は里道であり、他町においても草刈りなどの日常の維持管理については、地元でお世話になっておりますので、よろしく願っています。